

五月病完治

NEEDLE・INK MEDICATION



作・演出：木村樹
出演：皮墓村／金沢涼恵

登場人物

男と女。それだけ。

未成年には向かない。

春に能天気にするべき。

◇再会◇

舞台はコンビニ。

ニット帽にサングラス・マスク姿の男が、ピストルを向けて店員を脅している。

男「いいか、よく聞け。今からこのバッグに金を詰めろ。いくらですか、って？

レジの金、全部に決まってるんだろ。少しでも変な真似してみろ。
これでお前の頭、撃ち抜くからな」

●どこかのコンビニの入店音。

仕事帰りの女、入店してくる。

男「何モタモタやってんだよ、こっちは時間がねえんだよ」

女「(店員に)すみません、ちょっとお手洗いお借りしていいですか。すみません」

男「さっさとしろ。さっさと！何でレジの開け方、わからなくなってるんだよ！」

女、少しだけ舐めまわすように男を見る。

女「たけし君？」

男「あん？」

女「たけし君だよ。ほらほら、すずえ、すずえ」

男「え、ちよつと解らないですねえ」

女「ええ、なんでよ。かわむらたけし君でしょ」

男「ちよつとフルネーム、今、言わないで」

女「ほらあ、ドッジボールで避けるの上手かったはずだよ」

男「人違いじゃないですか？」

女「ああ、やっぱりそうだ。たけし君の口癖、人違いじゃないですか、だったもんね」

男「俺、昔からそんなこと言ってたんだ？え、どういう状況で」

女「懐かしいなあ。え、いま、たけし君、何やってるの？」

男「え、今？今？（レジを指差す）」

女「いや、今、たけし君、何の仕事やってるのかなあ、って」

男「ああ…。まあ、今はハローワーク行ったり、行かなかったり、みたいな…」

女「そっかあ。大変だ。今、大変な時期だ」

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

五月病完治（おためしサンプル）

2018年5月6日 初版発行

2018年5月6日 改訂（ver.1.001）

著 者 木村樹 © 2018年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529
